

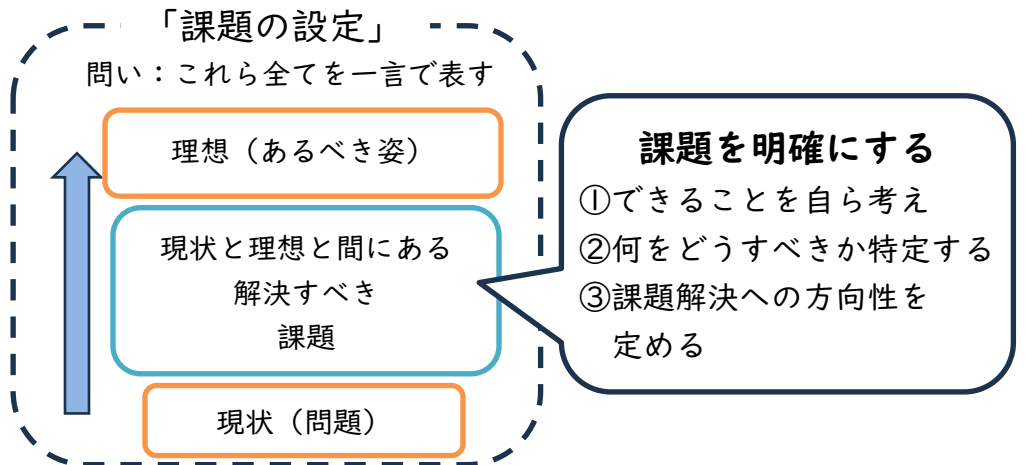


高等学校	総合的な探究の時間	全学年
------	-----------	-----

生徒自ら課題意識を持つための「課題の設定」



それってもしかしたら、解決すべき課題が明確になっていないのかも！



探究のサイクルにつなげるために、社会的に共有された調整学習(Socially Shared Regulation of Learning: SSRL)」の手法を使って生徒自ら課題の明確化をできるようにしよう！

SSRLとは？ 1人で進めていく自己調整学習から発展した、予見-遂行-自己省察からなる学習のサイクルを複数人で進めていく調整学習のうちの一つ。共通の課題を通して、グループ内で得られた新たな視点や気づきをいかし、新たなものを構築していく。

ここでは、共通の課題を課題の明確化とし、「課題の設定」に取り組もう！

個人(予見)
「課題の設定」
を行い、見通し
を立てる

グループ(遂行)
各自の「課題の
設定」を共有し、
明確にするための
話し合いを行う

個人(自己省察)
話し合いを振り返り、
新たな視点や
気づきを基に課題
を明確にする

「解決すべき課題」

「解決すべき課題」
+他者の視点

新たな
「解決すべき課題」

課題の明確化

話し合いの工夫

教員：話し合いを促進させるために、ファシリテーターとして授業を展開します。

- ・傾聴・座席の配置・言い換え
- ・タイムマネジメント

6W2Hとは？

Who:なぜ? What:何を? When:いつ?
Where:どこで? Why:なぜ? Whom:誰に?
Howどのように?:How much:いくらで?
どのくらい?

③課題解決への方向性を定めることができた例
問：「なぜ物価の高騰が続くのか」

物価高騰を改善させたい！
(調べたことをずっと説明…)

どのように改善するの？
どのくらいで改善されるの？

解決すべき課題を説明していたつもりが、現状しか話していなかったことに気づき、再考し「地産地消」の視点で、解決への方向性を定めることができた！

生徒：4人一組のグループで各自の「課題の設定」について話し合いをします。

話し合いのルール

- ・安心安全の場である
- ・リアクションをしよう
- ・6W2Hを使って質問をぶつけて相手の考えを引き出そう
「なぜ〇〇なの？」
「どうやって△△するの？」

②何をどうすべきか特定し、

③課題解決の方向性を定めることができた例
問：「ヘルメットの着用率を上げるには」

着用率を上げるために、「ヘルメットの見た目を変える」「着用することの大切さを広める」「ヘルメットに画期的な機能を付ける」ようにすればいいのではないかな。

どうしたら着用してくれるのかをもっと具体的に考えたら？

「着用することの大切さを広める」の視点に絞り、何をどうすべきか特定し、解決への方向性を定めることができた！

総合的な探究の時間だけでなく、他教科や特別活動の場面でもご活用ください！

※詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員 研究報告(R7)をご覧ください。